

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3188回例会 (平成29年12月20日・水)

今週のプログラム

12月20日 (水)

「例会兼家族忘年会」

例 会 18:30~18:50 (予定)
家族忘年会 19:00~20:50 (予定)

次週のプログラム

1月10日 (水)

「歳男年頭所感」

歳男会員の皆様

2017年(平成29年)12月~2018年(平成30年)1月の予定

- 12月20日 (水) 家族忘年会
- ※12月27日 (水) クラブ定款第8条による休会
- ※1月3日 (水) クラブ定款第8条による休会
- 1月10日 (水) 新年初例会・定例理事会
- 1月21日 (日) 蕎麦処 ロータリ庵 蕎麦打ちの会
松江市生涯学習センター4F菓子づくりホール
16時~19時30分
- 1月30日 (火) 松江4クラブ合同例会
ホスト：松江しんじ湖RC
会 場：松江エクセルホテル東急
時 間：18時30分~20時50分 (予定)
- 1月31日 (水) 30日 (火) に例会変更のため例会なし

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
12月20日(水)	米 子 東	ANAクラウンプラザホテル米子
12月21日(木)	松 江 東	ホテル一畑
12月25日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
12月26日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
12月28日(木)	松 江 東	ホテル一畑
1月2日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
1月4日(木)	松 江 東	ホテル一畑
1月9日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
1月10日(水)	大 社	出雲商工会内事務局(大社町作菜南1344)
1月16日(火)	境 港	Asian Resort Dining 阿國
1月19日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
1月26日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
1月29日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
1月30日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく



本日のエレクトーン 糸川恵美子 さん

第3187回例会記録

平成29年12月13日 (水・雨時々雪)

会員数 70名
出席者数 46名
欠席者数 24名
出席率 75.40% (出席免除会員含む)
前々回補正 90.48% (出席免除会員含む)

- ビジター 田中 (松江南)
- メーカーキャップ 中島、波多野 (米子南)
永通、錦織 (松江しんじ湖)
長野 (交流・歓迎会)、福田 (理事会)

会 務 報 告

伊原会長

- ビジター紹介
- ゲストスピーカー紹介
錦 織 伸行 会員と
島根大学4年 伊東航一様、杉原こなみ様
- 米山奨学生 ウィーさん紹介
奨学金お渡し
- 退会会員のお知らせ
仙田一恭会員は12月末日をもって退会
仙田一恭会員より退会挨拶
お餞別お渡し
- 12月9日(土) 当クラブと里山を育てる会と共に植樹報告
田和山遺跡公園自然学習の森ゾーンへあすなろの木50本植樹。
伊原会長御夫妻、内海副会長、堀江会員参加

- 12月10日(日) 次年度ロータリー財団セミナー出席報告
地区補助金について
伊原会長、西村次期会長、藤井次期幹事出席
- 大谷公夫会員より財団寄付を頂きました。

【年次総会】

クラブ定款第8条第2節、第13条第5節、クラブ細則第5条第1節により12月の年次総会において次年度理事役員を選出を行うことになっております。9月20日に開催された歴代会長の皆様による次年度理事指名委員会に基づき次々年度会長候補者に御指名いただいたのは櫻井誠己会員です。
次年度理事役員は
①理事(会長) 西村 康会員
②理事(次期会長) 櫻井誠己会員
③理事(副会長：クラブ鶴管理運営) 勝部 晋会員

- ④理事 (副会長：奉仕プロジェクト) 佐藤尚士会員
- ⑤理事 (直前会長：財団) 伊原正人会員
- ⑥理事 (直前幹事：会員維持・増強) 森岡隆行会員
- ⑦理事 (広 報) 河原八郎会員
- ⑧理事 (職業奉仕) 井戸内義文会員
- ⑨理事 (社会奉仕) 大野光徳会員
- ⑩理事 (国際奉仕) 長野真久会員
- ⑪理事 (青少年奉仕) 長岡憲夫会員
- ⑫理事 (会 計) 後藤 勇会員
- ⑬理事 (幹 事) 藤井裕一会員
- ⑭役員 (副 幹 事) 原田光明会員
- ⑮役員 (会場監督) 杉原 有会員

2018-19年度第3グループガバナー補佐は松江南RC古志勝俊会員が決定しております。

森岡幹事

- ロータリーの友12月号、下期分会費請求書、IMのご案内配付。
IMは2月18日(日)大田クラブのホストにより開催されます。入会5年未満の方を含めたくさんの会員の皆様にご出席頂きたいと思っております。
全員登録です。(12月6日理事会承認)
交通手段：松江4クラブ合同貸切バス
出欠メ切：1月10日(水)事務局まで。
- 次週12月20日(水)例会時間を変更し例会兼家族忘年会を開催致します。
12月27日、1月3日(水)は休会。
来年1月10日(水)通常通りの例会。
- 歳末たすけあい余芸大会チケット希望の方は幹事まで。

委 員 会 報 告

- クラブ管理運営 親睦・出席委員会 大山会員
出席報告
- 広報委員会 小林祥委員長
ロータリーの友12月号の紹介
- 乾会員より「古都松江」のご案内

ス ピ ー チ

「お花を使ったまちづくり」
錦弘堂食品店 代表取締役 にしこおりのぶゆき 錦織伸行会員
島根大学生物資源科学部(4年) いとうこういち 伊東航一氏、すぎはら 杉原こなみ氏



ニ コ ニ コ 箱

48,000 円

- 松江南：田中** (おじゃまします。今年もお世話になりました。ありがとうございました。)
- 錦織** (本日の卓話を島根大学の学生さんと一緒にさせて頂きます。普段から松江の街をきれいにしてくれている島根大学の伊東さんと杉原さんに感謝を込めて。)
- 伊原、内海、内田、川上、森岡** (ゲストスピーカー伊東航一様と錦織会員のスピーチに期待して。)
- 杉原秀** (錦織会員と島大生さんのスピーチを歓迎して。)
- 紀野** (本日のゲストスピーチを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。)
- 小林祥** (錦織会員、島根大学の学生とお花を使ったまちづくり ありがとうございます。)
- 仙田** (大変長い間お世話になりました。)
- 伊原、内海、中村** (仙田さん長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。)
- 勝部晋** (仙田様43年間御苦勞様でした。いろいろ御指導ありがとうございました。)
- 信太** (「友」に拙文が掲載されました。投稿をお勧め戴いた小林先生をはじめクラブの皆様へ感謝致します。でも出席は当たり前のことですが…。)
- 小林祥** (信太先生 前人未踏のホームクラブ1662回出席達成おめでとうございます。)
- 後藤、事務局** (信太先生 ホームクラブ連続出席おめでとうございます。)
- 中村** (理事会においてIMへの全員登録を決定いただきありがとうございます。たくさんの会員の皆様に参加いただくようお願い申し上げます。)
- 井上** (来週の忘年会は、申し訳ありませんが、所用により欠席させていただきます。ただ昨年に引き続き、私の家族は出席させていただくことになりました。ご配慮ありがとうございます。小さい子供もおり、騒がしくなるかもしれませんが、ご放念いただきたく存じます。家内と子供達は、今年も楽しみにしておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。)
- 森岡、勝谷** (結婚月)
- 上定** (誕生月)
- 藤本** (出席100%賞)
- 井上** (入会月)

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会 原田会場監督

●1月例会プログラム予定

- 1月10日(水) 会員スピーチ
「歳男年頭所感」 歳男会員の皆様
- 1月17日(水) 会員スピーチ
「未定」
富士通(株)山陰支社長 たけおか 竹岡ゆかり氏
- 1月24日(水)
「未定」
未定
- 1月30日(火)
「松江4クラブ合同例会」
ホスト：松江しんじ湖RC
会 場：松江エクセルホテル東急

ひとこと
随想

瑞風で地域振興



和田 昇 司

瑞風が運行を開始して、はや半年が経過しました。6月の運行開始時の地域の皆様の熱烈的な歓迎、そして今日まで継続的にお手振りやおもてなしにご協力いただいていますことに、心からの感謝の気持ちでいっぱいです。松江駅でのお見送りの際には展望デッキのお客様が手を振り返されるなど、お客様と地域の皆様との交流も生まれています。

私たちが瑞風に込めた思いは、瑞風という広告塔を通じて地域の魅力を発信し、多くの方に知っていただくことで地域を元気にすることです。これまでテレビや新聞など多くの媒体に取り上げていただき、少しずつこの役割を果たすことができるようになってまいりました。

地域の魅力発信のひとつとして、車内で提供される食事を監修する「食の匠」の一人である松江市の原シェフ（ル レストラン ハラ オ ナチュレ

ール）にご協力いただき、山陰エリアの沿線地域の食材をふんだんに使った料理に仕上げていただきました。例えば島根近海で採れた白バイ貝や生ういが使用されていて、非常に好評をいただいております。また、松江や奥出雲のお酒が提供されるなど車窓から眺める景色はもちろん食材に至るまで山陰の魅力を堪能していただいています。

今後は日本のお客様はもちろん、海外のお客様にも瑞風にご乗車いただき、他にない山陰の魅力を体験していただくことで、世界中に「山陰ブランド」を広めていきたいと考えています。そのためには、外国のお客様に合わせたサービスやおもてなしを作り上げなければなりません。

瑞風は“地域とともにつくる列車”です。地域の皆様と一緒にサービスを磨き上げながら、世界に誇る「山陰ブランド」へと育てていきたいと思ひます。 (旅客鉄道)



ひとこと
随想

マッターホルンの氷河を滑る

(標高3000m、気温マイナス23℃)



いぬい
乾

たか
隆 明



57歳で会社を黒字精算すると、島根大学で歴史学を学び、夏は3000m級の山々へ登り、冬は信州や北海道の名だたるスキー場へ行く「よく学びよく遊ぶ」生活になった。

中でも10日間に及ぶマッターホルンの氷河を滑る合宿は最高の体験だった。

70代の先輩方とスイスからイタリアへ滑る夢のような合宿であった。
(歴史研究)